

2014年度(平成26年度)活動報告

I. セミナー

テーマ	講師(所属機関)	司会	期日	主催者	共催者
“Google as Gatekeeper: How Google’s Search Algorithm Promotes Better Citizenship”	Sean Richey (Georgia State University)	西崎文子	2014年 5月12日	CPAS	
“Narratives of National Belonging: The Domestic, the Wild, and the Mutant in Australian Film”	Catriona Elder (The University of Sydney)	遠藤泰生	2014年 5月19日	CPAS	グローバル共生 プログラム(GHP)
“Chinese Gold Miners and the Chinese Question in Pacific Settler Countries: California and Australia”	Mae M. Ngai (Columbia University)	遠藤泰生	2014年 6月10日	CPAS	基盤研究(A)「19世紀前半のアメリカ合衆国における市民編成原理の研究」、 グローバル共生 プログラム(GHP)
“Mr. Paine’s Iron Bridge: Architecture and Politics in the Age of Democratic Revolutions”	Edward Gray (Florida State University)	遠藤泰生	2014年 7月24日	CPAS	基盤研究(A)「19世紀前半のアメリカ合衆国における市民編成原理の研究」
“Hoover Institution: Its Mission, Its Activities, and Its Asian Collection”	Eric Wakin (Stanford University)	遠藤泰生	2014年 10月15日	CPAS	
“Genius in Bondage: Theories of Genius / Mental Ability and Social Inequality in Early America”	Joyce E. Chaplin (Harvard University)	遠藤泰生	2014年 12月5日	CPAS、基盤 研究(A)「19世紀前半のアメリカ合衆国における市民編成原理の研究」	
“Fortune Telling in the Modern United States: The Progressives and the Trade in Prophecy”	David Goodman (The University of Melbourne)	遠藤泰生	2015年 1月9日	CPAS	基盤研究(A)「19世紀前半のアメリカ合衆国における市民編成原理の研究」、 基盤研究(B)「移民とその故郷——非同 化適応戦略と トランスナショナリズム 表象」
“Wars, Citizens, and Citizenship in the Modern United States”	David Goodman (The University of Melbourne) Christopher Capozzola (Massachusetts Institute of Technology)	遠藤泰生	2015年 1月10日	CPAS	基盤研究(A)「19世紀前半のアメリカ合衆国における市民編成原理の研究」、 基盤研究(B)「移民とその故郷——非同 化適応戦略と トランスナショナリズム 表象」

“Brothers of the Pacific: America’s Forgotten Filipino Soldiers from 1898 to the War on Terror”	Christopher Capozzola (Massachusetts Institute of Technology)	遠藤泰生	2015年 1月14日	CPAS	基盤研究(A)「19世紀前半のアメリカ合衆国における市民編成原理の研究」、基盤研究(B)「移民とその故郷——非同化適応戦略とトランスナショナリズム表象」
“Surviving Creative Destruction: Entrepreneurial Capitalism and the Expansion of Slavery in the United States”	Edward E. Baptist (Cornell University)	橋川健竜	2015年 2月20日	CPAS	基盤研究(A)「19世紀前半のアメリカ合衆国における市民編成原理の研究」、若手研究(B)「環大西洋経済圏における北アメリカ植民地と西インド諸島植民地の貿易の展開」

II. シンポジウム等

- ・シンポジウム「移民国家のつくられ方——アメリカ、オーストラリア、スペインの比較」

日時：2014年6月14日(土) 13時半～17時

場所：東京大学駒場キャンパス 18号館1階ホール

報告：Mae M. Ngai (コロンビア大学教授)

“The United States as a Nation of Immigrants: A Short History of an Idea”

Catriona Elder (シドニー大学准教授)

“Imaging Borders / Policing Borders: Australia, Asylumseekers and the Oceans of the Asia Pacific”

深澤晴奈 (東京大学教養学部非常勤講師)

「新しい移民流入国としてのスペイン——市民社会の反応を中心に」

小田悠生 (中央大学助教)

「アメリカ移民法における「家族」——市民権、永住権と家族の権利」

応答：北村暁夫 (日本女子大学教授)

挨拶：高橋均 (東京大学大学院教授)

司会：遠藤泰生 (東京大学大学院教授)

主催：基盤研究(B)「移民とその故郷——非同化適応戦略とトランスナショナリズム表象」
(代表：高橋均)

共催：基盤研究(A)「19世紀前半のアメリカ合衆国における市民編成原理の研究」(代表：遠藤泰生)、東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻、東京大学大学院グローバル共生プログラム、東京大学グローバル地域研究機構、東京大学アメリカ太平洋地域研究センター

- ・シンポジウム「アジア太平洋の経済秩序とアメリカ——新しい秩序は生まれるのか」

日時：2014年11月29日(土) 15時～18時

場所：東京大学駒場キャンパス 18号館4階コラボレーションルーム1

報告：菊池努（青山学院大学教授）

「TPPとアジア太平洋の通商秩序」

片田さおり（南カリフォルニア大学准教授）

「BRICSの金融戦術とアジア太平洋」

Park, Chang-Gun（国民大学教授）

「G2時代韓国のFTA——“グローバルハブ（global hub）”から“ヘッジ（hedging）”戦略への転換」

司会：古城佳子（東京大学大学院教授）

主催：東京大学アメリカ太平洋地域研究センター

共催：基盤研究（C）「現代国際関係における「共通利益」の形成過程に関する政治学的研究」（代表：古城佳子）、基盤研究（B）「近・現代アメリカ論の系譜——学際的・比較論的視点から」（代表：西崎文子）、東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専攻

Ⅲ. 研究プロジェクト

- ・日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究（A）
「19世紀前半のアメリカ合衆国における市民編成原理の研究」（代表：遠藤泰生）
- ・日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究（B）
「近・現代アメリカ論の系譜——学際的・比較論的視点から」（代表：西崎文子）

Ⅳ. 出版活動

- ・『CPAS Newsletter』Vol. 15, No. 1（2014年9月）、No. 2（2015年3月）
- ・『アメリカ太平洋研究』第15号（2015年3月）
- ・『日本におけるアメリカ研究 オーラルヒストリー——宮里政玄先生に聞く』第32巻（2014年5月）

Ⅴ. センター所属教員の2014年1月から12月までの研究活動

遠藤泰生

[学術論文]

- ・「「信教の自由」から考える自由の二元的性格」『アメリカ太平洋研究』第14号（2014年3月）、130-38頁。

[その他の執筆]

- ・「2013年度『アメリカ太平洋研究』の刊行によせて」『アメリカ研究振興会 会報』第74号（2014年2月）、2頁。
- ・「書評フォーラム 森本あんり著『アメリカ的理念の身体——寛容と良心・政教分離・信教の自由をめぐる歴史の実験の軌跡』をめぐって」『アメリカ太平洋研究』第14号（2014年3月）、129頁。

- ・「日本におけるグローバルスタディーズの受容と地域研究（座談：福武新太郎・臼杵陽・遠藤泰生・寺田勇文・宮崎恒二他）」『地域研究』第14巻1号（2014年3月）、33-60頁。
- ・センタープロジェクト紹介「19世紀前半のアメリカ合衆国における市民編成原理の研究」『CPAS Newsletter』Vol. 14, No. 2（2014年3月）、11頁。
- ・「本当の「独立」を目指して——ジャマイカ人の深いジレンマ」『Transit』第24号（2014年3月）、92-93頁。
- ・「日本におけるアメリカ研究 オーラス・ヒストリー」第32巻『日本におけるアメリカ研究 オーラルヒストリー——宮里政玄先生に聞く』第32巻（2014年5月）、巻頭言。
- ・センタープロジェクト紹介「19世紀前半のアメリカ合衆国における市民編成原理の研究」『CPAS Newsletter』Vol. 15, No.1（2014年9月）、6頁。

[学会活動等]

- ・企画および司会
シンポジウム「移民国家のつくられ方——アメリカ、オーストラリア、スペインの比較」
東京大学アメリカ太平洋地域研究センター主催、東京大学駒場キャンパス、2014年6月14日。
- ・討論
シンポジウム“Water and Faith: Shared Values”第3回スルタン・カブース学術講座、東京大学、2014年10月3日。
- ・International Contributing Editor, *Journal of American History*

西崎文子

[論文]

- ・「米国外交からみた集团的自衛権」奥平康弘・山口二郎編『集团的自衛権の何が問題か——解釈改憲批判』（岩波書店、2014年）、237-49頁。

[その他の執筆]

- ・「特集：それぞれの戦後——アメリカとベトナム 特集にあたって」『アメリカ太平洋研究』第14号（2014年3月）、5-6頁。
- ・新聞記事「紛争と国家の行方——『民族自決』の夢を問い直せ」『毎日新聞』、2014年3月10日夕刊。
- ・新聞記事「核といのちを考える——『被曝体験』を原点に」『朝日新聞』、2014年8月9日朝刊。

[学会活動等]

- ・講演
「日本国憲法と日米関係の現在」北京大学国際関係学院、2014年3月28日。
「核兵器廃絶への道——原点を見つめ、『核の傘』を越える」朝日新聞社主催国際平和シンポジウム、長崎市、2014年8月2日。
「貧困の発見と『アメリカの世紀』」長野市民教養講座、長野市、2014年9月12日。
- ・報告
“A Story of ‘Self-Government’: A Contested Legacy of Wilsonian Diplomacy” ヴァージニア大学歴史学部、2014年9月5日。

「history と historiography のあいだ——『新外交』をめぐる考察」シンポジウム「第一次世界大戦とアメリカ」日本アメリカ史学会第11回年次大会、亜細亜大学、2014年9月27日。

- ・司会

ワークショップ“Pacific Worlds: Empire, Environment, Embodiment”日本アメリカ学会第48回年次大会、沖縄コンベンションセンター、2014年6月8日。

- ・司会および討論

分科会「アメリカの安全保障政策」日本政治学会2014年度研究大会、早稲田大学、10月11日。

- ・日本学術会議第一部会員

- ・理事 アメリカ学会

古城佳子

[学術論文]

- ・「世界金融危機に国家は対応できるのか」遠藤乾・遠藤誠治編『日本の安全保障 第8巻』(岩波書店、2015年刊行予定)。

[その他の執筆]

- ・部会報告「新たな経済交渉方式としてのTPP——異なるディシプリンからのアプローチ」『日本国際政治学会ニューズレター』第142号(2015年1月)。

[学会活動等]

- ・報告

「国際レジーム論は何処へ——国際制度論への移行か」京都国際関係研究会、同志社大学、2014年4月19日。

「『韓流』の政治経済学——企業とソフト・パワーの源泉についての一考察」高麗大学日本研究センター、2014年9月11日。

- ・討論

シンポジウム“On Overcoming Conflicts for Korea-China-Japan Trilateral Cooperation”韓国国民大学、ソウル、2014年9月12日。

シンポジウム「国際関係理論の日本の特徴の再発見——理論の『輸入』と『独創』をめぐる」東京大学駒場キャンパス、2014年12月6日。

- ・司会

シンポジウム「設立50周年記念シンポジウム 第2部」国際関係論研究会、東京大学駒場キャンパス、2014年10月4日。

部会「新たな経済交渉方式としてのTPP——異なるディシプリンからのアプローチ」日本国際政治学会2014年度研究大会、福岡国際会議場、2014年11月15日。

シンポジウム「アジア太平洋の経済秩序とアメリカ——新しい秩序は生まれるのか」東京大学アメリカ太平洋地域研究センター主催、東京大学駒場キャンパス、2014年11月29日。

- ・評議員 日本国際政治学会

- ・評議員 国際法学会

- ・理事 日本政治学会

- ・日本学術会議第一部会員

橋川健竜

[著書]

- ・『南北アメリカの歴史』(網野徹哉共編著)(放送大学教育振興会、2014年)。

[学会活動等]

- ・受賞 清水博賞(アメリカ学会)
- ・編集委員 アメリカ学会 *The Japanese Journal of American Studies*

島貫香代子

[学術論文]

- ・“The Impact of Quentin’s Death on Caddy: Re-reading *The Sound and the Fury* from the Compson Appendix” 日本英文学会『英文学研究 支部統合号』第6号(2014年1月)、315-22頁。

[学会活動等]

- ・報告
「アイクとサム系の連動性——「熊」における物語の再構築」日本ウィリアム・フォークナー協会第17回全国大会、藤女子大学、2014年10月3日。

[その他の執筆]

- ・“The Two-Sided Triangle: America Publishes Australia” デイヴィッド・カーター セミナー参加記『CPAS Newsletter』Vol. 15, No.1 (2014年9月)、2-3頁。
- ・“Lion” から “The Bear” へ——Lion と Sam Fathers の関係性』日本英文学会『第86回大会 Proceedings (付 2013年度支部大会 Proceedings)』(2014年9月)、240-41頁。

高野麻衣子

[学会活動等]

- ・報告
「1920年代の地域主義とマッケンジー・キング自由党政権」日本カナダ学会第39回年次研究大会、関西学院大学、2014年10月4日。

[その他の執筆]

- ・書評「細川道久著『カナダの自立と北大西洋世界——英米関係と民族問題』」『日本カナダ学会ニューズレター』第98号(2014年7月)、7-9頁。

グローバル地域研究機構運営委員会（2014年度）

大学院総合文化研究科・教養学部

(機構長・運営委員長)

(副研究科長)

(言語情報科学専攻)

(言語情報科学専攻)

(超域文化科学専攻)

(超域文化科学専攻)

(地域文化研究専攻)

(地域文化研究専攻)

(国際社会科学専攻)

(国際社会科学専攻)

(生命環境科学系)

(相関基礎科学系)

(広域システム科学系)

(機構)

(機構)

(機構)

(機構)

(機構)

(機構)

(機構)

(機構)

(機構)

(機構)

(機構)

大学院法学政治学科・法学部

大学院人文社会学研究科・文学部

大学院経済学研究科・経済学部

大学院教育学研究科・教育学部

大学院新領域創成科学研究科

東洋文化研究所

遠藤泰生	教授
田中純	教授
加藤恒昭	教授
山田広昭	教授
菅原克也	教授
高田康成	教授
村田雄二郎	教授
和田毅	准教授
松原隆一郎	教授
酒井哲哉	教授
豊島陽子	教授
岡本拓司	准教授
梶田真子	准教授
西崎文子	教授
古城佳子	教授
橋川健竜	准教授
石田勇治	教授
森井裕一	准教授
佐藤安信	教授
丸山真人	教授
遠藤貢	教授
杉田英明	教授
古田元夫	教授
月脚達彦	教授
久保文明	教授
飯田敬輔	教授
寺谷広司	教授
源河達史	准教授
水島司	教授
中村雄祐	准教授
諏訪部浩一	准教授
小野塚知二	教授
北村友人	准教授
中山幹康	教授
柳田辰雄	教授
長澤榮治	教授
佐藤仁	准教授

以上、37名